

校長 金丸 利康

本校は、昭和62年(1987年)4月に町立南風原中学校から分離開校して34年目になります。校区は、本町の南側に位置する本部・喜屋武・照屋・津嘉山・山川・神里・兼本ハイツ、第1団地、第2団地等であり、現在の学校規模は、21学級、生徒数594名の島尻地区では中規模の学校です。

学校経営にあたっては、公教育の本質に立ち、学習指導要領のねらいと我が国の教育の動向や沖縄県教育委員会、南風原町教育委員会の教育施策を踏まえ、生徒の実態に応じ、保護者や地域との連携融合のもと全職員が英知を結集し、組織的・共同的・創造的な教育実践の展開により、生徒と教師一人一人が大切にされ活力に満ちた学校づくりにつとめ、本校の学校目標である、「よく学ぶ生徒」、「心豊かな生徒」「たくましい生徒」の育成を図っていきたいと考えております。

また、校訓は「自立・共生」で、自分のやるべき役割をはたし、みんなとよりよく生きようと意欲に満ち溢れた生徒達であって欲しいという想いが込められています。校訓の「自立共生」の気概を持って、生徒会活動、部活動を中心に自主的な活動が取り組まれています。

それから、本校は部活動が盛んで、16の部活動があります。これまでに、地区中学夏季総合体育大会で、男子バドミントン部、男子硬式テニス部、女子硬式テニス部が団体の部や個人の部で優勝を果たしました。また、英語スピーチ、学級合唱、独唱で地区代表として県大会にも出場を果たしています。

生徒たちは、学習や生徒会活動、学校行事、部活動にまじめに一生懸命に取り組んでいて、さらなる活躍を期待しています。

今年度も創立以来の想を受け継ぎ、校訓「自立共生」の気概を持って、「確かな学力の向上」「豊かな心と健やかな体の育成」「生徒の自主活動の活性化」「保護者・地域との連携」を学校経営の柱に据え、生徒教師一人一人が大切にされ活力に満ちた学校づくりをめざしていきます。

■校名について

南星中という本校の名前は、公募により決定されました。

創立の前の年(1986)は、ハレー彗星の大接近が話題になっていました。校名の「南星」には、「南風原の南に位置し、若人に大きな夢と希望を与え、未来永劫、素晴らしい人材を育み、飛躍発展を続ける、南に輝く星であれ」という意味が込められています。

各種学校行事で生徒会が設定する活動テーマには「南の星」の文言が含まれ、創立以来の想いが30年経てもしっかりと根付き、引き継がれています。